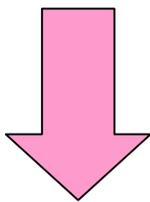


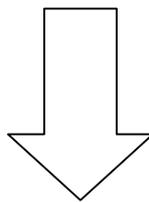
新北九州空港における国内線旅客施設使用料の金額算出根拠について

1. 対象施設

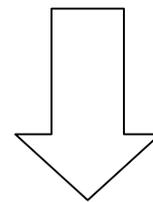
旅客ターミナルビル(国内線)の建設		
旅客共用施設	航空会社専用施設等	商業施設
ゲートラウンジ コンコース エレベーター エスカレーター 出発・到着ロビー 搭乗案内設備 ボーディングブリッジ バゲージクレーム 等 旅客共用施設投資額 14.2億円	チェックインカウンター バックオフィス 事務所 等	飲食店舗 物販店舗 等



旅客施設使用料



航空会社等負担



各テナント負担

対象経費

減価償却費、支払利息、公租公課、保険料、修繕費等

2. 旅客施設使用料積算額の内訳（年額）

減価償却費：60,196千円

定額方式により毎年の償却額を算出

建 物 35年

機能設備 5年～15年

支払利息等：37,980千円

18～27年度の支払予定利息の平均

公租公課：11,098千円

課税標準額（評価率70%と設定）×1.4%（税率）で算出

保険料：4,112千円

現北九州空港の実績より算出

修繕費：28,638千円

18～27年度の支払見込みの平均

航空会社への徴収手数料：6,391千円

～ の合計 × 4.5%

消費税：7,421千円

～ の合計 × 5%

合 計 : 155,836千円

3. 旅客施設使用料の算出

年間航空旅客数：1,453千人（平成18～27年度の需要動向による平均予測値）

155,836千円 ÷ 1,453千人 = 107.3円/人 100円/人

旅客施設使用料積算額（年額） / 年間旅客数（10年平均）